

科目名		建築実務講座（耐震・調査演習）				
担当教員		野本 優		実務授業の有無	○	
対象学科		建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	36
授業概要、目的、授業の進め方		今まで学習したことが木造住宅の耐震、調査の分野において実務でどう使われているかをイメージできるようになることを目標に、設計や調査の分野以外に就職する人でも一般の方から住宅の耐震について聞かれたら、大まかにでも答えられるようになっていただけたらと思います。				
学習目標（到達目標）		木造住宅における耐震、調査分野の概要をイメージできるようになっていただけたらよいと思います。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		配布プリント				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	10.1 木造住宅の耐震、既存住宅建物調査の概要			プリントを配布し解説		
2	10.8 建築基準法における木造住宅の耐震規定			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
3	10.15 建築基準法における木造住宅の耐震規定			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
4	10.22 住宅性能表示 耐震等級			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
5	10.29 住宅性能表示 耐震等級			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
6	11.5 許容応力度計算概要			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
7	11.12 既存住宅の耐震診断			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
8	11.19 既存住宅の耐震診断			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
9	11.26 既存住宅状況調査			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
10	12.3 既存住宅状況調査			プリントを配布し解説。必要に応じ演習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験	出席			日常生活の中で出てくる耐震等級やインスペクションという言葉を意識して見ていただけると幸いです。		
30 %	70 %	%	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		野本 優：住宅に関する調査・設計に12年携わっている。				